

グループワーク実施内容

テーマ：「“あったらいいな” と思う非来館型サービス」

内 容：Zoom ブレイクアウトルームにグループごとに分かれ、70 分間のグループワークを行った。出されたアイデアについて、取り入れたいと思ったものを各自、記入してもらった。

Connect to REAL

・360 度カメラで撮った館内の写真をアップしている。

・チャット GPT で図書館案内。

・図書館内のライブビューイング。

・空席状況をオンラインで確認できるシステムの導入。

・書架の写真をホームページで公開して、どのような資料があるのかどこにいても閲覧できるようにする。

・オンラインブラウジングのための書架の画像化。

・オーディオブックの提供。

・障害等で来館できない方と直接来館している人をつなげるサービス。

・オンラインでの読み聞かせ。

・返却場所の充実。

・貸出・返却をどこからでもできるシステム。

・図書の予約、レファレンス、利用登録などのオンライン化。

・申し込んだ文献などを直接図書館に取りに来る時間がない先生に、ドローンで届ける。

・使いかたガイドの動画配信。

・図書館から利用者個人の興味ある情報を提供することで来館につなげる。

・OPAC 上での、資料の試し読みサービス。

- ・蔵書検索で、本を検索すると、レビューも一緒に載っている。

- ・AI を使ったおすすめ本の提案。

- ・VR、XR を使用した企画展示の体験→実際の来館に繋げる。

- ・ゲーム要素を取り入れながら、図書館利用の楽しさをアピールする。

- ・仮想書架（書架ごとに本の背タイトルが見られる）

- ・メタバースでの仮想図書館（利用者は好きなアバターで来館、職員が自由に電子書籍を排架）。バーチャル世界に図書館をすることで、遠方の人とも交流が図れる企画だと思う。

- ・電子掲示板などを設置し、図書館を情報共有または新たな集まりを生み出す場所とする（例：やりたい研究テーマなどを投稿し興味のある人達を掲示板で集める）

- ・図書の新着情報は館内に来ないとわからないため、その都度ブログや SNS で発信する。

- ・研究の成果を閲覧できるようにし、相互に作るサービス。

- ・貴重書等をデジタルで公開し、他館の資料とも紐づけする。

- ・バーチャル空間で図書館を体験できるシステム。

- ・バーチャルでの選書ツアー。

- ・メタバース空間の構築、新刊案内、読みたい本のカテゴリー等を登録しておくユーザーのニーズに合った情報を発信してくれる図書館。

- ・メタバースを利用して自分の理想の図書館作り。

- ・HP 上で自分の読みたい本を選び、自分だけの図書館が作れる機能。